

「阪南 2 区（ちきりアイランド）人工干潟見学会・清掃活動」の概要

- 日 時 令和 2 年 11 月 20 日（金）14:00～15:00
- 場 所 阪南 2 区（ちきりアイランド）南側人工干潟（大阪府岸和田市）
- 主 催 CIFER・コア
- 協 力 （公財）大阪府都市整備推進センター
- 参加者数 8 名

阪南 2 区の北側海浜緑地の護岸が着工されたこともあり、その北側の沖合に整備されている干潟の現状を把握するため、久方ぶりに現地を訪れました。コロナ禍のため多人数の参加を控え CIFER・コア事務局主体の参加になりましたが、かねてから現地の見学を熱望されていた CIFER Osaka Bay サポーターの大阪海さくらの那須さん（代表）と中西さん、干潟造成の工事を施工した東洋建設㈱の藤原さんも参加し、合計 8 名となりました。

折角の機会なので、干潟に漂着したプラスチックごみなどを回収するミニ清掃活動を実施しました。

小雨の降る中、阪南 2 区北側海面の東を囲む防波堤上のボードウォークを 600m ほど歩くと南干潟に到着します。阪南 2 区は現在工事中であるため、（公財）大阪府都市整備推進センターの許可なく立ち入ることはできませんが、このボードウォークはかなり魅力あふれた空間です。

潮位は約 130cm と高かったので干潟はかなり水没していましたが、それでも葦の群生地から水際まで広いところでは 10m 以上あり、自然的な景観になっていました。また、浜屋顔がまとまっている場所もあり、平成 25 年 10 月に CIFER・コアが実施した見学会でこの場所を訪れた時よりも植物がしっかり育っている印象を受けました。

この海面の北西側には開口部がありますが、工事用船舶の航行時以外は海面がフェンスで閉鎖されているため、堺市堺区の堺浜ほど浮遊ゴミは多くはありませんが、それでも流木、プラスチックのカゴ、シート切れ端、ペットボトル、空き缶、包装プラスチックなどのゴミが散乱していました。ゴミ袋に入るものを袋に詰めると 9 個分になり、砂浜はすっきり綺麗になりました。

干潟から南方向にある岸和田市貝塚市クリーンセンターの前では護岸工事をしている様子で、新たな取り組みが行われているようですが、コロナ問題が一定収束し見学会が開催できるような状況になれば、この干潟の見学会と清掃活動を行いたいと考えており、貴重なボードウォークも楽しんでいただきたいものです。





▲ 干潟に続く防波堤のボードウォーク



▲ 干潟にはアシやハマヒルガオなどが根付いている



▲ 清掃活動の様子



▲ ビニール袋 9 個分のゴミを回収